

4/9(火)スタート ラジオ放送が始まります！

FMとちぎ (RADIO BERRY) を利用して、矢板の旬の情報を発信していきます。
 番組名/矢板時間 (ヤイタジカン)
 放送時間/毎週火曜日 13:30~14:47
 ※途中、14:15~14:30は、別番組が入ります。
 内容/イベント情報や観光情報、矢板のおすすめスポットの紹介など
 問い合わせ/総合政策課 秘書政策班 ☎(43)1112



3/18(月) 市のホームページがリニューアル!



より見やすく、わかりやすく、使いやすく！
 利用者目線のホームページへ

リニューアル8つのポイント

- ①市民の皆さん向けのコーナーが充実！
→「市民の方へ」をクリックすると、情報をライフステージ別などに検索。
- ②「子育て支援メールマガジン」の新設！
→子育て中の方に、お子さんの発達時期に合わせたお役立ち情報などを配信。
- ③子育て情報の充実！
→子育て支援や健診情報などを積極的に発信。
- ④「イベント情報コーナー」の新設！
→市内のイベント情報などが一目で分かる。
- ⑤「360° パノラマビュー」の新設！
→市内の主な観光地などの情報を写真で紹介。
- ⑥「Twitter」の導入！
→利用者からの情報を得るとともに、災害時の緊急情報などを迅速に情報提供。
- ⑦「やいたライフ」の新設！
→矢板の子育てや生活(やいたライフ)をウェブムービー(動画)で紹介。
- ⑧「ウェブブック」の新設！
→「広報やいた」など、冊子のデータファイルを画面上で本をめくるように見られる。

※①~⑧の番号は、左のイメージ内の番号と連動しています。

問い合わせ/総合政策課 秘書政策班
 ☎(43)1112

指定廃棄物最終処分場問題 候補地選定が見直されます

平成25年2月25日(月)環境省から指定廃棄物最終処分場候補地の選定について、選定プロセスの検証結果と今後の方針が示されました。

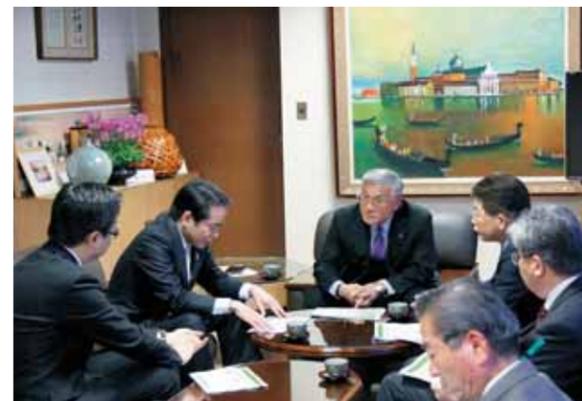
昨年の9月3日に、指定廃棄物最終処分場の県内候補地として、矢板市塩田の国有林野が選定されてから、今月で半年がたちました。

これまでに、矢板市民同盟会と塩田地区同盟が中心となり、候補地選定の白紙撤回を求め、さまざまな運動が展開されてきました。

このような中、環境省は昨年12月の政権交代を受けて、前政権下での取り組みを検証した結果、これまでの選定に問題があったとし、選定プロセスを見直すこととしました。

2月25日(月)、環境省井上副大臣と秋野政務官が市役所を訪れ、市長・正副議長との会談の中で、副大臣より検証結果と今後の方針についての説明がありました。

会談の中で井上副大臣は、「選定過程を検証した結果、市町村との意思疎通が不足していた。今後は市町長による会議を設置して、地元自治体との協議を重視する」と話していました。



井上環境副大臣(左から2人目)との会談の様子

会談後の記者会見で、市長は「(環境省は)検証に真摯に取り組んでくれた。主張のかなりの部分は取り入れられた」と話しました。

この後、市民同盟会・塩田地区同盟の代表へ会談内容を報告、意見交換を行い、市長は、「長峰公園での1万人集会や国会周辺デモ行進、署名活動など、これまでの活動がこの結果につながった」と話しました。また、県内に新たな候補地を選定するうえで、塩田が候補地から完全に外れたわけではないことを指摘し、「今回、候補地とされた場所は、安全性の問題から適地ではない」と、改めて主張しました。

また、今後行われる市町長会議の開催には、協力していく意向を示しました。

出席者からは、「政権が代わったので白紙撤回の期待をしていたが、残念」、「今後も運動を続ける」などの意見がありました。



市民同盟会や塩田地区住民へ報告内容を説明

環境省発表の概要

はじめに(抜粋)
 昨年12月の政権交代を受け、前政権下での取り組みを検証し、これまでの選定プロセスを見直すこととした。

検証結果

- ①選定作業の実施や選定結果の共有にあたり、市町村との意思疎通が不足していた
- ②候補地の提示にあたっての詳細な調査、専門的な評価が不足していた
- ③各県の状況を踏まえた対応が不十分だった

今後の方針

- ①市町村長会議の開催を通じた共通理解の醸成
- ②専門家による評価の実施
- ③候補地の安全性に関する詳細調査の実施

問い合わせ/放射能汚染対策課 ☎(43)1114